

- 鉄道一般
- 車両
- 施設
- 電気
- 運転・輸送
- 防災
- 環境
- 人間科学
- 浮上式鉄道

# WCRR2019の開催概要



兎束 哲夫  
Tetsuo Uzuka

国際業務部 次長  
WCRR2019実施本部 本部長

鉄道総研は2019年10月28日～11月1日にかけて、東京国際フォーラムにおいて第12回世界鉄道研究会議 (World Congress on Railway Research : WCRR2019, 以下WCRR2019) を開催しました。世界37か国から993名の参加者を得て3つのプレナリーセッション、70セッション・353件の論文発表、11コースのテクニカルビジット、126社のスポンサーによる技術展示・広告などの協賛を得ることができました。ここではWCRR2019の開催概要を報告いたします。

## WCRRとは

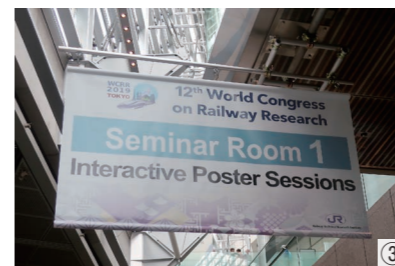
鉄道総研は2019年10月28日から11月1日にかけて、東京国際フォーラムにおいて第12回世界鉄道研究会議 (World Congress on Railway Research : WCRR2019) を開催し、

世界37か国から993名の参加者をお迎えしました(①～⑤)。

WCRR2019の会議テーマはRailway research to enhance the customer experience (カスタマー・エクスペリエンスを高めるための鉄道研究) です。

ここでいうカスタマー・エクスペリエンスとは「顧客が鉄道利用に価値を見いだすことのできる『良質な経験』」であり、『良質な経験』には、安全・安心の確保、高い利便性、低コストサービス、環境への配慮などが含まれます。

なお、WCRRの歴史および運営はRRR2019年4月号をご覧ください。



## 開催概要

### 論文発表

鉄道研究のほぼすべての分野を網羅した約640件の論文応募があり、70の論文発表セッションにおいて合計353件の論文発表が行われました。有識者の座長が企画・運営を主導した「オーガナイズドセッション」(⑥～⑨)、一般的な発表形態である「オーラルセッション」(⑩)、短い口頭発表と電子ポスターを組み合わせた「インタラクティブポスターセッション」(⑪～⑬)の3種類のセッションから構成され、7つのパラレルセッションにおいて発表、議論が行われました。詳細は本号の別稿をご覧ください。

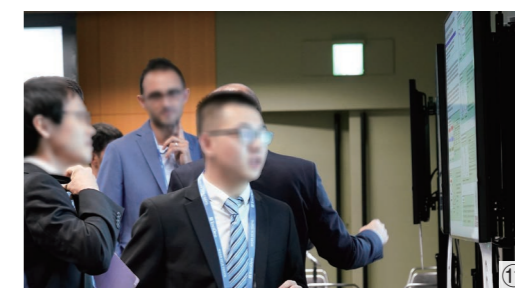
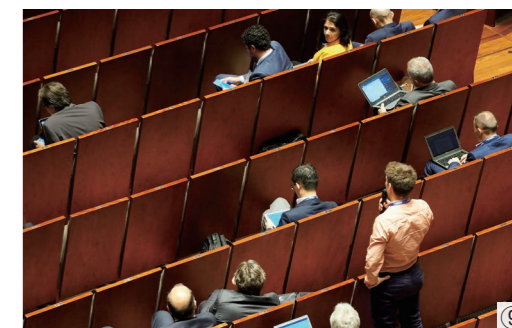


表1 WCCR2019スケジュール

| 10月28日(月)   | 10月29日(火)   | 10月30日(水)   | 10月31日(木) | 11月1日(金)  |
|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 開会式         | パラレルセッション   | パラレルセッション   | パラレルセッション | テクニカルビジット |
| プレナリーセッション1 | 休憩          | 休憩          | 休憩        |           |
| 休憩          | パラレルセッション   | プレナリーセッション3 | 休憩        |           |
| パラレルセッション   | パラレルセッション   | パラレルセッション   | 休憩        |           |
| ランチ         | ランチ         | ランチ         | 休憩        |           |
| パラレルセッション   | プレナリーセッション2 | パラレルセッション   | 休憩        |           |
| 会議参加登録      | 休憩          | 休憩          | 閉会式       |           |
| ウェルカムレセプション | パラレルセッション   | パラレルセッション   |           |           |
|             | ベイレセプション    | ガラディナー      |           |           |

表2 後援団体

| 組織名   |
|---|
| 国土交通省(特別後援)、日仏工業技術会、経済産業省(特別後援)、日本鉄道車輛工業会、東京都(特別後援)、日本鉄道技術協会(JREA)、英国大使館、日本鉄道施設協会、ドイツ大使館、日本鉄道電気技術協会、フランス大使館、日本民営鉄道協会、イタリア大使館、日本地下鉄協会、中国大使館、海外鉄道技術協力協会(JARTS)、オーストリア大使館、日本鉄道システム輸出組合(JORSA)、電気学会、日本鉄道車両機械技術協会、日本機械学会、国際高速鉄道協会(IHRA)、土木学会、交通安全環境研究所 |

表3 スポンサーリスト

| ダイヤモンド | JRグループ   |
|--------|--|
| プラチナ   | 東武鉄道、西武鉄道、京成電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、東急電鉄、京浜急行電鉄、相模鉄道、名古屋鉄道、近畿日本鉄道、南海電気鉄道、京阪電気鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、西日本鉄道、大阪メトロ、東京メトロ、クノールプレムゼ鉄道システムジャパン、伊豆商事、JR東日本、China Academy of Railway Sciences Corporation Limited、RSSB and University of Birmingham、Shift2Rail、研友社、ジェイアール総研サービス、テス、ジェイアール総研情報システム、ジェイアール総研電気システム、ジェイアール総研エンジニアリング、ANET                               |
| ゴールド   | 日立製作所、UQコミュニケーションズ、ミラプロ、丸和電機、古河電気工業、松井鋼材、日本精工、日本製鉄、理学メカトロニクス、鈴木合金  |
| シルバー   | クラレ、ライト工業、京三製作所、三工社、三菱電機、J-TREC、大同信号、JRシステム、東京メトロ、日本信号、日本電気  |
| ノベルティ  | MerMec Japan、Plasser & Theurer、クラレ、スリーアール工法協会、テノックス、ライト工業、東洋電機製造、フジサンケイビジネスアイ、日本線路技術、日本心理テスト研究所、複合技術研究所  |
| ブロンズ   | ACRI、IFSTAR、IHI、Korea Railroad Research Institute、RENK Test System、エムティエスジャパン、オリエンタルコンサルタンツグローバル、グレンエアジャパン、ジェイアール東海コンサルタンツ、ジェイアール東日本コンサルタンツ、スリーアール工法協会、旭化成グループ、応用地質、岡部、構造計画研究所、三井化学産資、鹿島建設、清水建設、積水化学工業、太陽工業、大林組、鉄道機器、東急建設、東京インキ、東芝インフラシステムズ、日本・精神技術研究所、日本精工、日本製鋼所、日本線路技術、日立金属、明電舎  |
| 広告     | JR東日本ビルテック、Plasser & Theurer、アンダーパス技術協会、カネコ、ジェイアール西日本コンサルタンツ、スミハツ、ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ、ソフトバンク、トーニチコンサルタント、ニチレキ、パシフィックコンサルタンツ、フコク、安部日鋼工業、日本鉄道車輛工業会、興和化成、三井金属エンジニアリング、三菱スペース・ソフトウェア、三和テック、指月電機製作所、住友商事、川崎重工業、浅間合成、双葉鉄道工業、太平洋セメント、大林組、中村自工、電気技術開発、電業、東亜道路工業、東邦電機工業、日本リーテック、日本交通技術、日本工営、日本車輻製造、日本製鉄、日本電設工業、日立ハイテクファインシステムズ、八千代エンジニアリング、峰製作所 |

会場

会期中のスケジュールを表1に示します。WCCR2019のメイン会場は東京駅を見おろす東京国際フォーラムで、開閉会式とプレナリーセッションは劇場形式のホールC、論文発表はホールDとガラス棟および地下展示場隣接のセミナールーム、スポンサー展示は地下のホールEを会場としました。

後援

国土交通省、経済産業省、東京都から特別後援をいただき、各国大使館および鉄道関係諸団体をあわせて24団体から後援をいただきました(表2)。

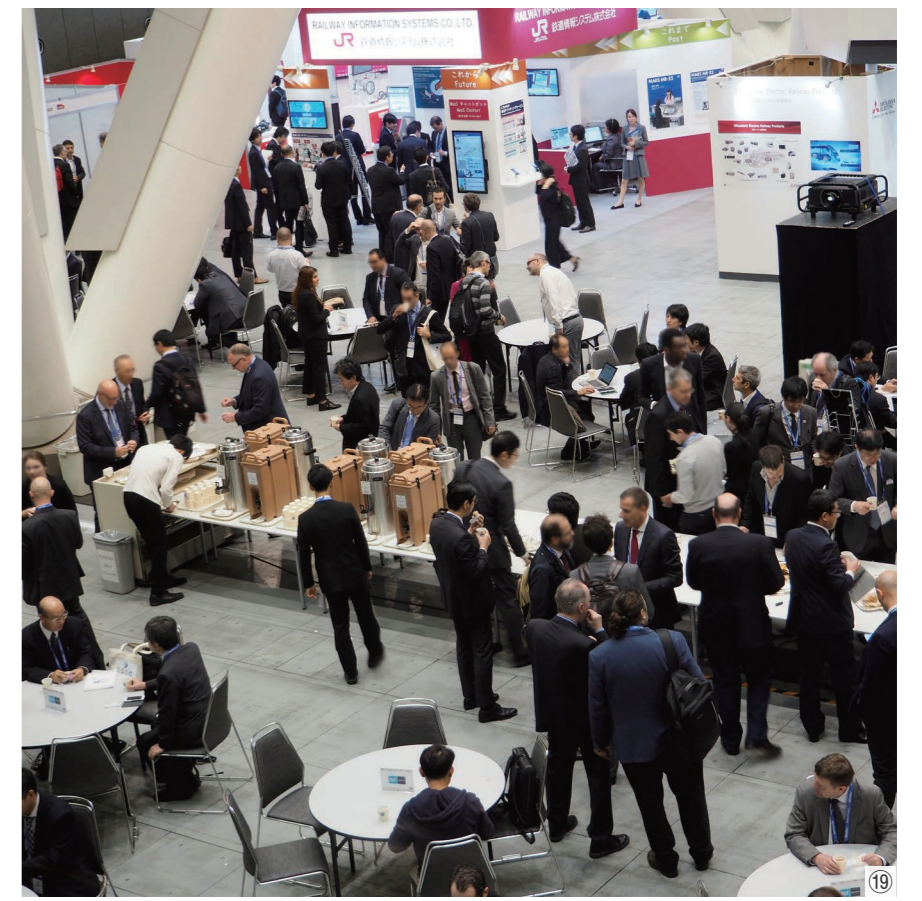
スポンサー展示

国内外から展示・ランチ・会場WiFi設備、ノベルティグッズ、および広告に対して合計106のスポンサーを獲得し、関係企業・団体数は126に及びました(表3)。地下展示ホールEにはスポンサー各位による技術展示が並び(14~18)、ランチ・コーヒープレイクには参加者で賑わいました

(19~22)。参加者に配布したコングレスバッグに主要スポンサーのロゴを掲示(23)、プログラムブックに広告を記載する(24)とともに、スポンサーロゴ入りノベルティグッズを封入しました(25)。

JR展示

JR旅客6社・貨物に鉄道総研を加えた8社がダイヤモンドスポンサーとなり、ガラディナーを提供するとともに共同展示ブースをロビーギャラリーに設置しました(26)。技術展示としては安全および環境を、また一般の通行人も見られるブース側面には鉄道ツーリズムを展示しました(27)。

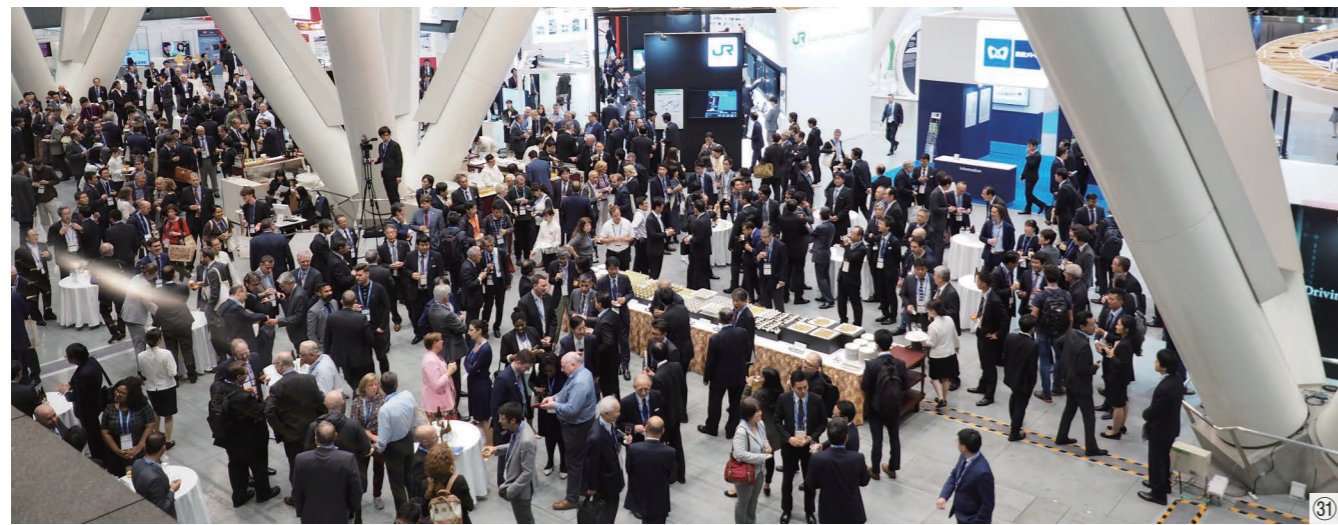




### ウェルカムレセプション

10月28日夜にホールEにおいて、大手民鉄16社と大阪メトロ（大阪市高速電気軌道）をスポンサーとしたウェルカムレセプションを実施しました。ボランティア参加頂いたJR東海吹奏楽団がファンファーレを鳴らし（29）、スポンサーである大手民鉄を代表して近畿日本鉄道の和田林会長からご挨拶をいただきました（28）。

参加者は思い思いにスポンサー展示



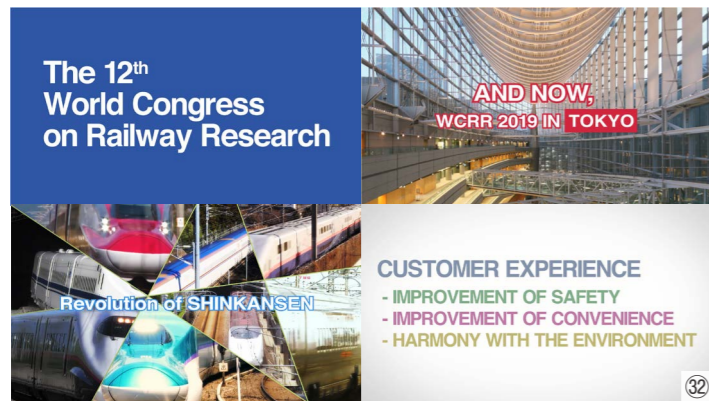
を見ながら談笑し、吹奏楽団の演奏に聴き入っていました（30③1）。

### 開会式

10月29日9時に御法川信英国土交通副大臣をお招きして開会式が始まりました（33③4）。WCRR2019のテーマを表現したビデオ上映後（32）に渡辺WCRR組織委員長が開会宣言を行い、続いて鉄道総研熊谷理事長から主催者挨拶、御法川副大臣から日本歓迎（35）、東京都都市整備局の中島高志理事から東京歓迎（36）、さらにUICのカステリ会長から世界潮流についてそれぞれご挨拶をいただきました（37）。

### 東京ベイレセプション

10月29日夕方には鉄道総研協力会社をスポンサーとして、東京湾内を航行する遊覧船を一隻貸し切り、外国人参加者を中心とした東京ベイレセプションを開催しました（38③9）。東京国際フォーラムからは貸し切りバスで移動、船内ではスポンサーを代表して一般財団法人研友社西江理事長から歓迎のご挨拶をいただきました（40）。





### ガラディナー

正式な晩餐会であるガラディナーは、赤羽一嘉国土交通大臣をゲストに迎えて約800名が東京會館丸の内本館に集いました(41)。

鉄道総研正田会長、赤羽大臣、JR東日本深澤社長(42)挨拶の後に大臣を中心とした鏡開きを行い(43)、国土交通省水嶋鉄道局長の音頭で乾杯しました。

アトラクションとして浅草芸妓衆の

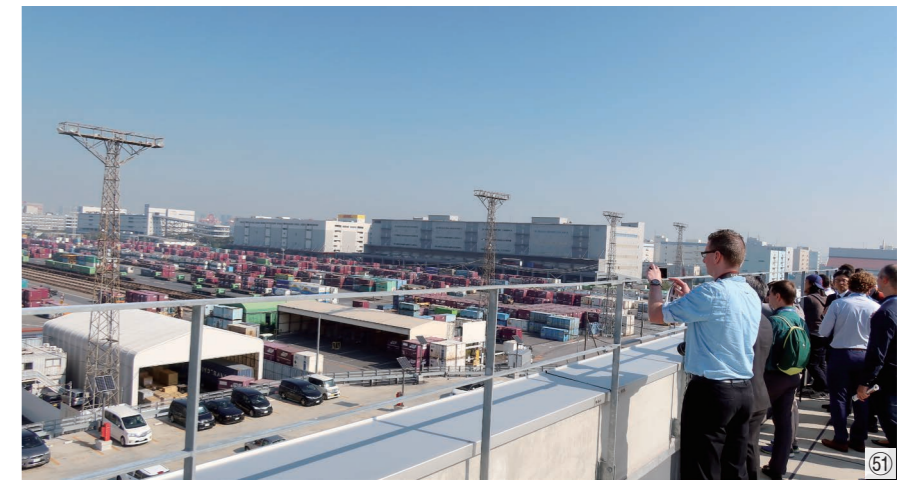


踊り、連獅子舞が海外からのお客様の目を惹きました。そして1999年のWCCRにも出演したソプラノ歌手小林晴美先生が、「乾杯」を歌い上げました。また、最初から最後までJR東日本交響楽団有志による弦楽四重奏が雰囲気をもり立てました(44)。

### 閉会式

10月31日午後に閉会式を行い、まずウェルカムレセプションからプレナリーセッション3までの会議を写真で振り返りました(45)。次に論文賞および若手研究者賞に選定された9名が、WCCR組織委員から表彰されました(46・47)。

続いて渡辺組織委員長が会議全体を締めくくる挨拶を行った後(48)、次回開催となる英国RSSBのモイシオ組織委員とバーミンガム大学ジャック教授の二人からビデオを用いたWCCR2022のプレゼンテーションが



行われ、ついで渡辺組織委員長から英国側に開催地トロフィーが手渡されました(49)。

最後に閉会式に出席した全員が写真に収まり、東京国際フォーラムでの全行事が終了しました(50)。

### テクニカルビジット

11月1日のテクニカルビジットでは、JR各社、鉄道情報システム(JRシステム)、鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)および東京地下鉄(東京メトロ)、埼玉新都市交通などの多大なるご協力をいただき、鉄道総研国立研究所を含む11コースに計315名が参加しました(表4)。各コースには案内役として、鉄道総研職員が同行しました(51~54)。

### カルチャルビジット

会議開催中、日本文化体験を目的としたカルチャルビジットを企画しました。10月29日は茶道として根津美術館の茶室を借りた本格的なお茶事、30日は香道として目黒の蟠龍寺にて匂い袋の製作、31日は東京駅と周辺散策。発表者同伴者を中心に計25名が参加しました。



表4 テクニカルビジット訪問先

| 訪問先 |                                |
|-----|--------------------------------|
| 1   | 東京貨物ターミナル駅(JR貨物)               |
| 2   | 東京総合車両センター(JR東日本)              |
| 3   | 埼玉新都市交通車両基地&鉄道博物館              |
| 4   | 総合研修訓練センター(東京メトロ)              |
| 5   | 総合研修センター(JR東海)                 |
| 6   | 風洞技術センター(鉄道総研)&京都鉄道博物館         |
| 7   | 浜松工場(JR東海)                     |
| 8   | 新幹線総合車両センター(JR東日本)             |
| 9   | 神奈川東部方面線建設現場(鉄道・運輸機構)          |
| 10  | 南砂町建設現場(東京メトロ)                 |
| 11  | 国立研究所(鉄道総研)&鉄道座席予約システム(JRシステム) |

### おわりに

直前まで台風や豪雨に襲われた日本列島でしたが、期間中はおおむね好天に恵まれ、和やかな雰囲気でも多数のお客様をお迎えすることができました。ここにあらためて皆様からのご協力に感謝する次第です。RRR